

# ソーシャルビジネスの 資金調達とインパクト評価

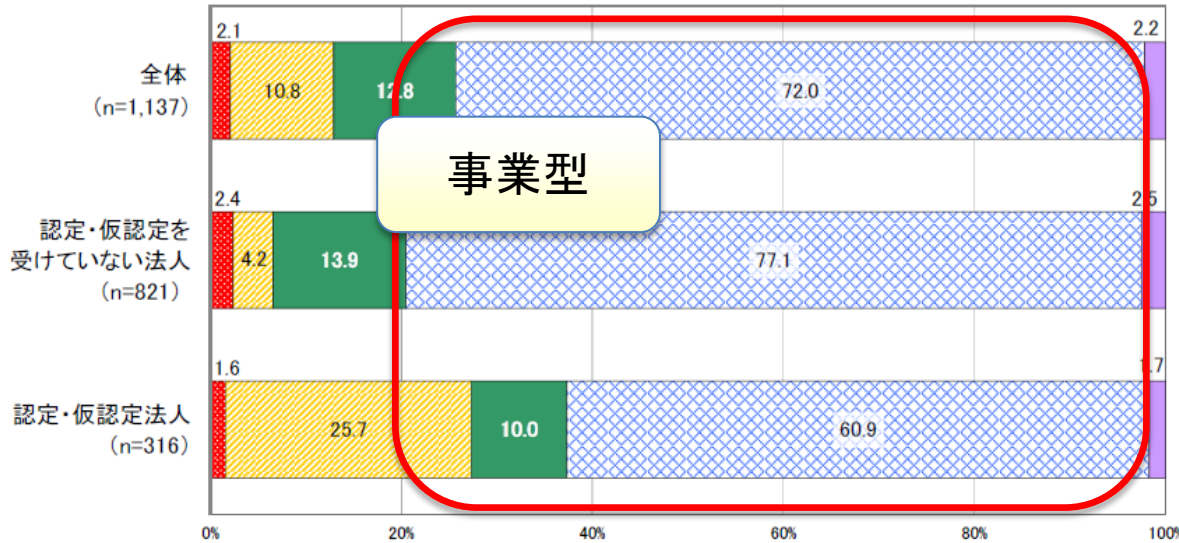
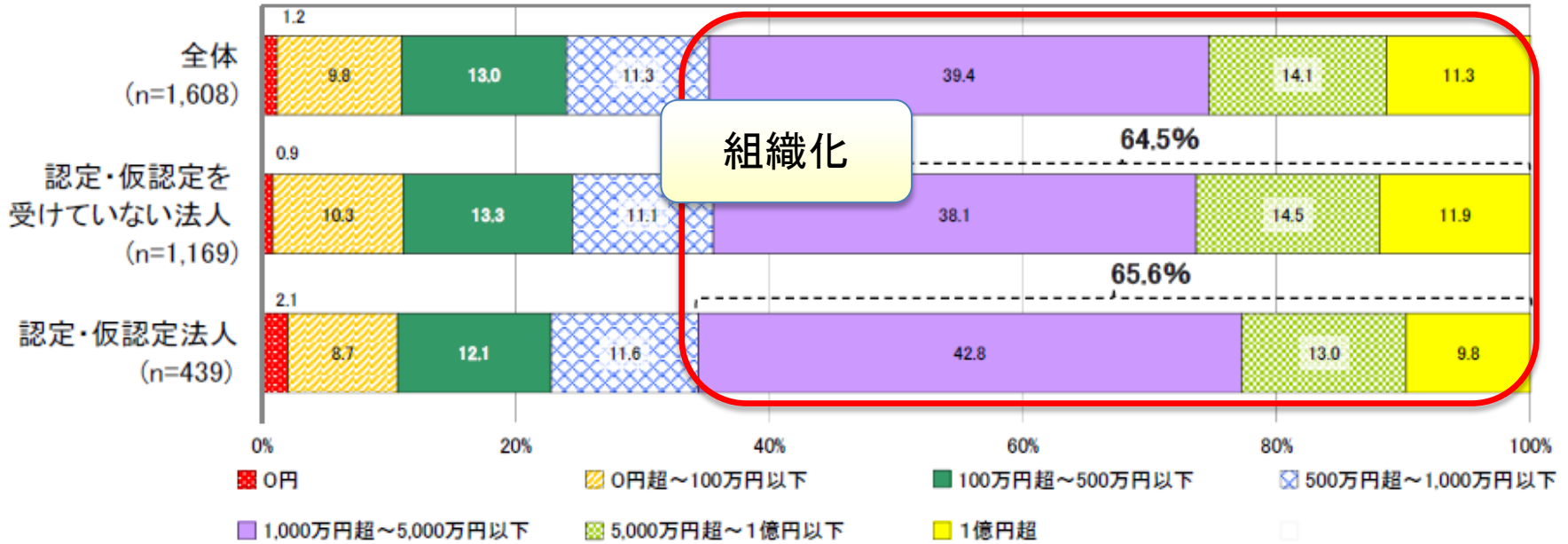
2016年8月19日(金)

関西大学商学部教授 馬場英朗

※本報告はJSPS科研費16K04021（馬場英朗）及び文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（塚本一郎）の助成による研究成果を一部活用している。



# NPO法人の収入構造



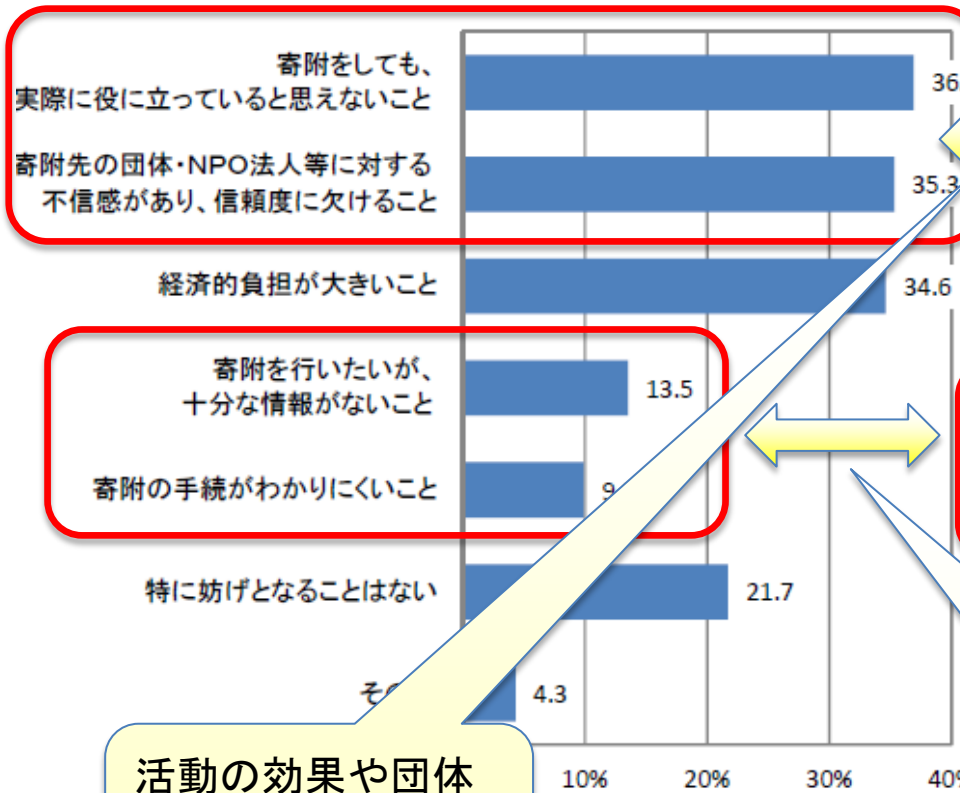
内閣府「平成27年度  
特定非営利活動法人に  
関する実態調査」  
pp.8-9

会費 寄附金 補助金・助成金  
事業収益 その他収益



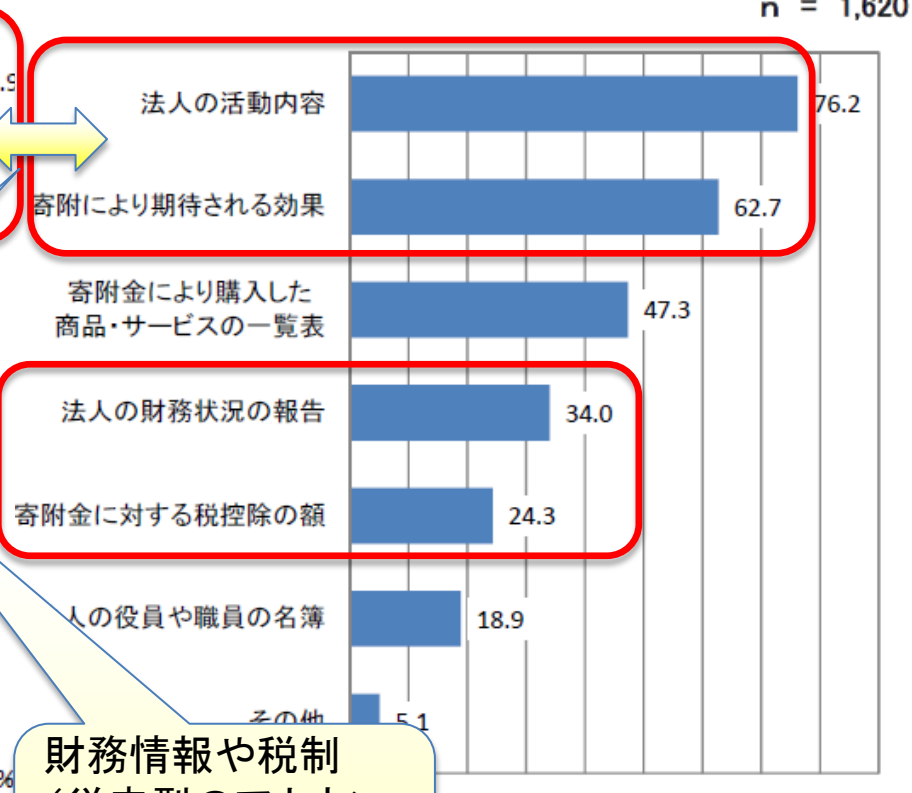
## 【寄付の妨げとなる要因(複数回答)】

n = 1,612



## 【寄付を行う場合に必要と考える情報(複数回答)】

n = 1,620



活動の効果や団体の信頼性に対する根本的疑問

財務情報や税制(従来型のアカウントビリティ)では解決できない

内閣府「平成27年度 特定非営利活動法人に関する実態調査」pp.27-28

- フィランソロピーの浸透

従来型の非営利組織

寄付文化の醸成 (p.2)

遺贈・贈与の促進 (p.5)

休眠預金の活用法案 (p.7 ⇒継続審議)

- ソーシャルビジネスの拡大

社会的企業

雇用の受け皿／働く場 (pp.2-3)

社会的インパクト投資／インパクト評価 (p.3)

ソーシャル・インパクト・ボンド (p.4)

- NPOバンク

融 資

市民等からの出資金を融資に充てる。

利息はないが、元本を損なうことなく地域を支援できる。

事業を通じた継続的な支援やつながり。

- コミュニティ財団

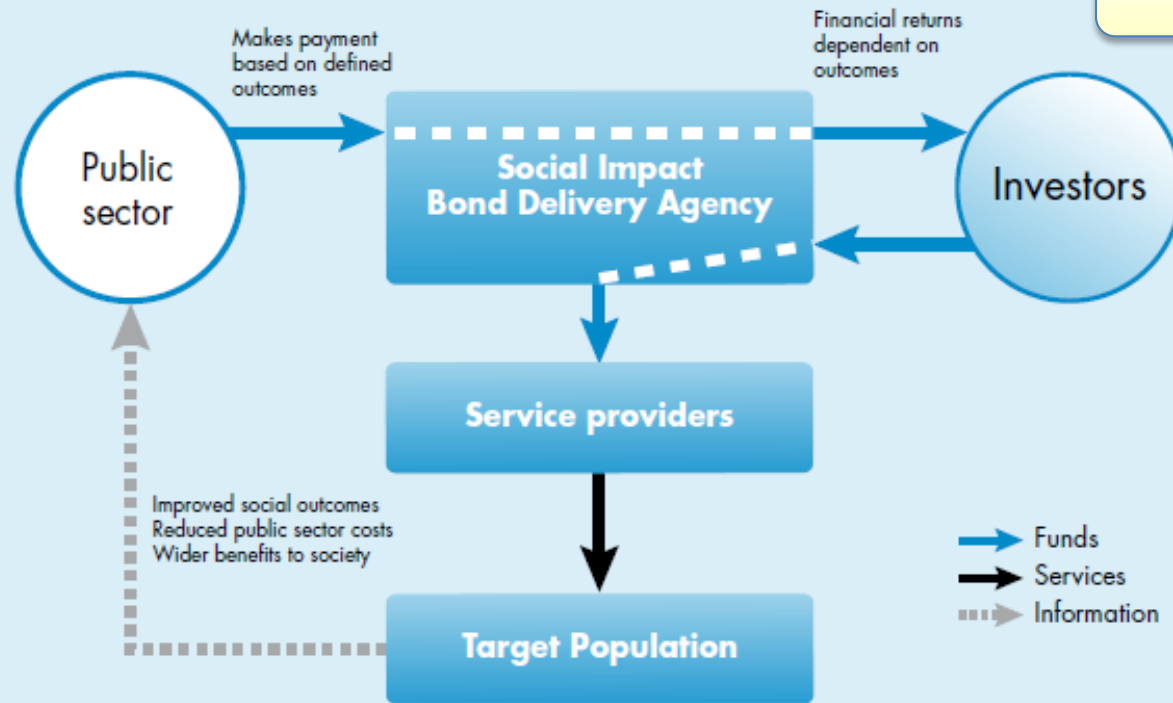
助 成

市民等からの寄付を助成に充てる。

公益認定などを得ることによる税制優遇。

休眠預金の受け皿としての期待も。

Figure 2.1 – Social Impact Bond mechanism



社会的投資

Social Finance (2010) “Towards a new social economy:  
Blended value creation through Social Impact Bonds” , p.30

- SRI (Socially Responsible Investment)
- ワクチン債 (途上国の子どもたちへのワクチン接種)
- アグリ・ボンド (途上国の農業ビジネス)
- グリーン・ボンド (温暖化対策の開発プロジェクト)
- ウォーター・ボンド (安全な水資源管理)
- JICA債 (有償資金協力事業)
- SIB (Social Impact Bond)

社会的分野が  
投資ポートフォリオ  
の選択肢に

- 社会価値 (Social Value) : NPO  
SROI (Social Return on Investment)

アカウンタビリティ

- 公共サービス改革 (Impact Measurement) : 社会的企業  
SIB (Social Impact Bond)  
PFS (Pay for Success)

財政削減

- 統合報告 (CSR) : 社会的投資

経済・環境・社会

GRI (Global Reporting Initiative)

IRIS (Impact Reporting and Investment Standards)

GIIRS (Global Impact Investing Ratings System)

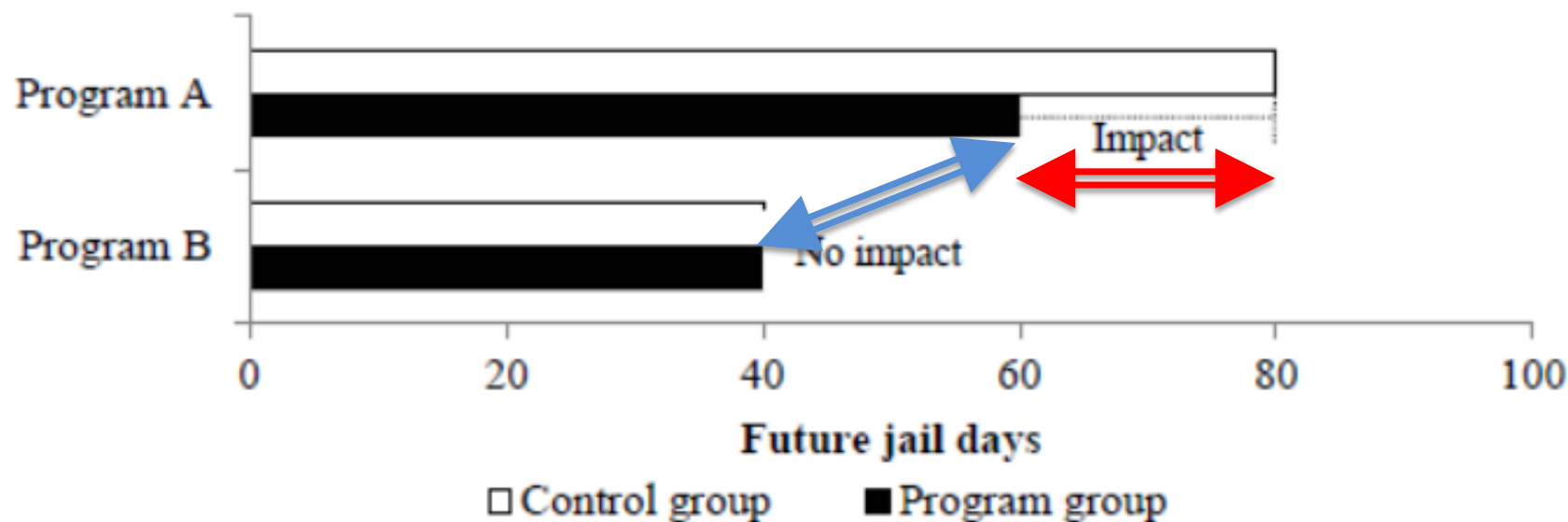


① 従来型のアウトカム評価（絶対値ベース）

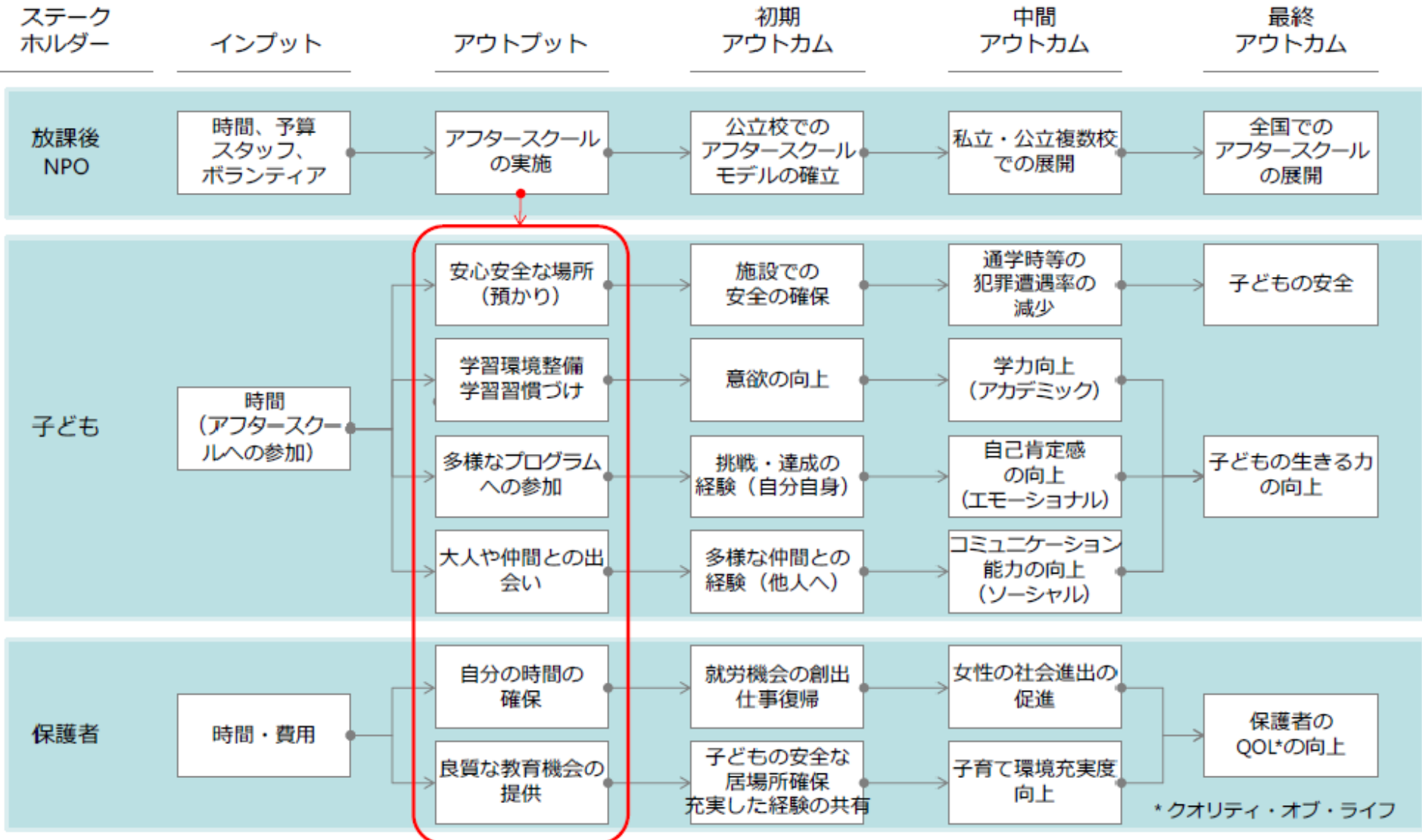
⇒ プログラムA < プログラムB

② インパクト評価（相対値ベース）

⇒ Program A > Program B



MDRC (2013) “Financing promising evidence-based programs: early lessons from the New York City Social Impact Bond”, p.18



国際開発機構 (2015) 「社会的インパクト評価促進に向けた現状調査と提言」 p.75

- (1) 重要性 (materiality) : 資源提供者や組織の意思決定に何らかの影響を与え得るデータを用いること。
- (2) 信頼性 (reliability) : 高度な誠実性が確保された情報源からデータを得ること。
- (3) 比較可能性 (comparability) : 整合性のある基準や手法を用いて他と比較できるデータを作成すること。
- (4) 追加性 (additionality) : その資源提供がなければ生じなかった追加的な効果を示すデータを用いること。
- (5) 普遍性 (universality) : 市場や地域、活動分野にかかわらず共通的に適用可能な手順にもとづいてデータを集めること。

Social Impact Investment Taskforce (2014) “Measuring impact” ,  
pp.19-20

- 2010～2016年（政策変更により2015年に中止）  
／投資額：500万ポンド

| 事業内容                                   | 対象                      | 成果の評価指標  | 行政の支払  | 財政削減  |
|--|-------------------------|--|--|---|
| 出所後の短期受刑者に対して支援・指導のプログラムを提供し、再犯率を低下させる | 刑期が1年未満の短期受刑者<br>3,000人 | サービスを受けないコントロールグループ(全国平均)の再犯率と、サービスを受けるグループの再犯率を比較して、プロジェクトによってどれくらい再犯率が低減されたかを測定する【インパクト】 | コントロールグループと比較して、7.5%以上の再犯率が低減された場合に元本と利息を支払う | 再有罪判決コスト(警察・裁判など)、懲役刑・社会奉仕刑に伴うコストを積み上げて計算する |

馬場英朗「ソーシャルインパクト・ボンドにおけるインパクト評価」塚本一郎・金子郁容編著『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か—ファイナンスによる社会イノベーションの可能性』第11章、ミネルヴァ書房、pp. 260-278

● 2012～2015年／投資額：88万7千ポンド

| 事業内容   | 対象  | 成果の評価指標  | 行政の支払                                   | 財政削減  |
|--|---|--|---|---|
| 路上生活者への支援や短期宿泊施設への入居アパートでの生活、雇用を得るための職業訓練などの一連の支援サービスを一貫したチームで行う | 過去2年間に路上生活を6回以上発見され、かつ直近3カ月間に路上生活またはホステルで発見されたホームレスから416人を抽出してコホートを形成する | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コホートにおける路上生活者の減少数【アウトカム】</li> <li>2. 長期居住先の確保【アウトカム】</li> <li>3. 外国人路上生活者の母国での再定住【アウトプット】</li> <li>4. 救急医療の利用数削減【アウトプット】</li> <li>5. 就労(フルタイム・パートタイム・ボランティアとして3カ月および6カ月以上継続)【アウトプット】</li> <li>6. 職業訓練参加者数【アウトプット】</li> </ol> | 6つの評価指標に対して各々単価をかけて金額を計算し、最大500万ポンドを支払う | SIBプロジェクトが実施されなかったとした場合に、行政からコーホート集団への支援に要する費用を見積もる |

● 2015～2022年／投資額：170万ポンド

| 事業内容   | 対象                             | 成果の評価指標  | 行政の支払  | 財政削減   |
|--|--------------------------------|--|--|--|
| <p>地域社会への結びつきや孤立解消が健康と福祉の増進に結びつくというエビデンスにもとづき、長期疾患を抱える人たちに非医療的な健康関連サービス(social prescribing)を提供する</p> | <p>ニューカッスル西部で長期的な疾患を抱える人びと</p> | <p>Wellbeing Star というツールを用いて、患者の健康・福祉に関して8分野の改善を測定する【アウトプット】<br/>二次医療のコスト削減について、サービス受益者が利用した二次医療のデータと Newcastle North and East CCG に住んでいる比較対象グループが利用した二次医療のデータを収集して比較する【インパクト】</p> | <p>1. 6年間は Big Lottery Fund と内閣府が Wellbeing Star の参加者数にもとづいて最大200万ポンドと100万ポンドを支払う<br/>2. プログラム開始から2～3年後にコミッショナー(NHS)は Wellbeing Star と二次医療のコスト削減にもとづいて支払いを開始する</p> | <p>長期疾患を改善することによる、将来的な二次医療にかかるコストの削減額を予測する</p> |

- インパクト、アウトカム、アウトカムを証拠にもとづいて (evidence-based) 測定し、(財政削減の) 効果が示される範囲で支払いが行われる。
- イギリスでは、犯罪／教育／雇用／消防／医療／住宅／社会サービスの分野で財政・経済・社会価値に関する単位コストのデータベースを整備している。

|    | D   | E                   | F  | G                            | H                  | I       | J                 | K                  | L       | M                    | N                  | O       | P                 |
|----|---|---------------------|--|------------------------------|--------------------|---------|-------------------|--------------------|---------|----------------------|--------------------|---------|-------------------|
| 1  | Cost / saving detail  | Unit                | Agency bearing the cost / making the fiscal saving |                              | Fiscal value       |         |                   | Economic value     |         |                      | Social value       |         |                   |
| 2  |   |                     | Level  | Level                        | Estimated cost/sav | Year    | Updated cost/ sav | Estimated cost/sav | Year    | Updated cost/ saving | Estimated cost/sav | Year    | Updated cost/ sav |
| 3  | Alcohol misuse - estimated annual cost to the NHS of alcohol dependency, per year per dependent drinker   | Per person per year | NHS  | Clinical Commissioning Group | £ 1,800            | 2009/10 | £ 2,015           |                    |         |                      | £ 1,398            | 2009/10 | £ 1,565           |
| 18 | Drugs misuse - average annual savings resulting from reductions in drug-related offending and health and social care costs as a result of delivery of a structured, effective treatment programme | Per year            | Criminal Justice System                            | NHS                          | £ 3,614            | 2013/14 | £ 3,727           | £ 8,954            | 2013/14 | £ 9,234              | £ 3,814            | 2013/14 | £ 3,933           |
| 44 | Ambulance services - average cost of call out, per incident   | Per incident        | NHS  | Clinical Commissioning Group | £ 216              | 2013/14 | £ 223             |                    |         |                      |                    |         |                   |

<http://neweconomymanchester.com/our-work/research-evaluation-cost-benefit-analysis/cost-benefit-analysis/unit-cost-database>

- フィランソロピー ⇔ ソーシャルビジネス  
非営利と社会的企業の分化・融合／過度な自律（事業規模）  
や成果（誤ったインパクト）への要求
- 評価の目的 ⇔ 成果の測定方法  
一般企業：売上や利益（株主や債権者）／社会的企業：  
Social Value（多様な利害関係者）
- 自律的な財源 ⇔ 多様な財源  
自主事業収益／行政委託事業／助成／寄付
- 事業規模の拡大 ⇔ 経営能力の不足  
日本：数千万～数億円／海外：数十億円
- 多様な人材の参加 ⇔ 働く場としての魅力  
ファンドレイズ／会計／金融／経済分析